

第2弾

「全国介護・看護 聞き取り調査結果」報告 すでに、老老介護・看護時代到来！！

※ 先月号（40号）で「人口推移と介護職員の従事者数の推移、並びに関連する有効求人倍率など」を公表されている数値を解析して、分かり易く解析した。その結果、各方面から大きな反響があり、記事掲載の意義が生じたことに、月報の役割が果たせた。

※ 前号で予告した通り、今回は【聞き取り調査結果】を特集して、「現場の声と考え方」を中心に解析したものを掲載する。「調査対象」は85施設、55病院に行った。この結果を関係者が現場に活かし、運営等の参考に、是非して頂きたい。

1、【介護における職員充足率の実態】

「有資格者の充足は、わずか29.2%にしかすぎない」

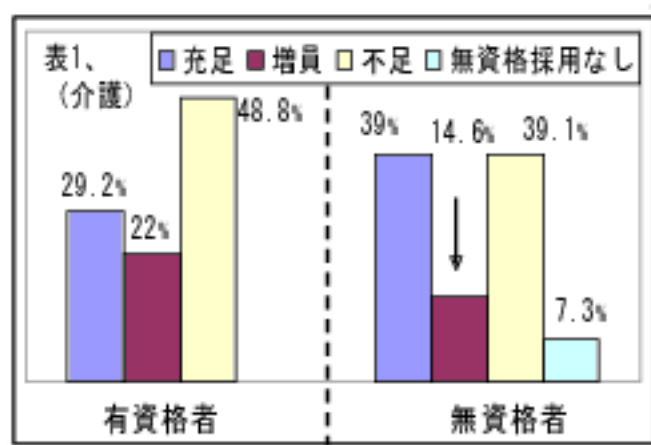
- 表1の棒グラフを観ると、「不足している」と返答した施設は70.8%にも達しており、【有資格者の不足】が聞き取り調査においても、より鮮明に表れている。前回の「公表数値解析の結果」でも、有資格者の不足が大きな問題となったが、聞き取り調査での現場の声も、全く同様の結果を表わしている。

- 即ち、2015年現在においても、純粋な有資格者不足は48.8%で約半分近くだ。さらに、増員の必要を感じている施設は、22%にも上る。

このことは、「10年後の介護士不足問題」は既に、現場では始まっており、一刻の猶予も無い重大な問題として浮上していることが明らかになった。

「無資格者の人手不足は、53.7%にも上る」

- 一方、施設の人手不足を少しでも補おうとするために「無資格者の採用」をほとんどの施設で行っている。無資格者の人材不足が53.7%にも達していることは日本社会、特に若者層の介護分野に対して関心が薄いことの反映であると言える。今後、若者を資格を問わずに人材確保しなければ、「施設の運営上、立ち行けない」ことを表わしている。



2、【看護における職員充足率の実態】

「有資格者の充足は、わずか34.5%」

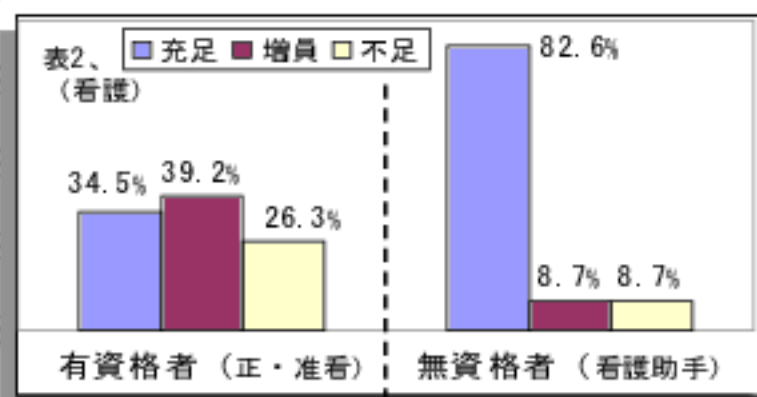
- 介護分野の人材不足は、社会面でも政治面でも大きく取り上げられ、「30万人介護士不足」等と騒がれている。

しかし、今回の聞き取り調査では表2の通り看護分野でも、有資格者で65.5%にも及ぶ【看護師不足】が明らかになった。

- そして、「充足している」と返答した病院は34.5%にすぎない。この結果を観ると、看護分野においても、有資格者の人材不足問題が、重要な課題だと判明した。

「無資格者の充足は、82.6%に上る」

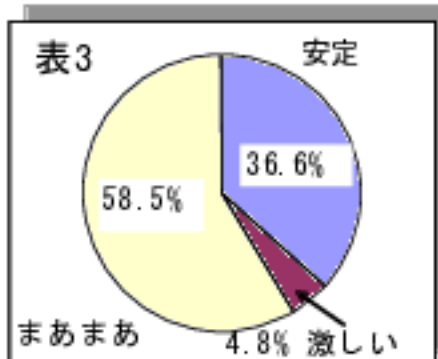
- 但し、無資格者の充足は介護より43.6%も多く、82.6%に達していることが判明した。このことで、無資格者が充足しているために、有資格者の問題が薄れて、社会問題化されていないことの一つの要因となっている。看護分野では、今後の大きな課題として、【有資格者の育成】が、病院の存続に多大な影響を及ぼすことは明らかだ。



3、【介護における職員の流動性の実態】

「安定性よりも、流動性の方に注目」

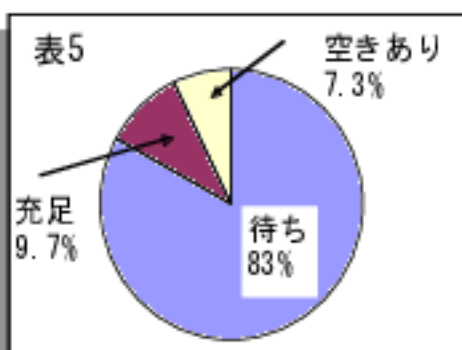
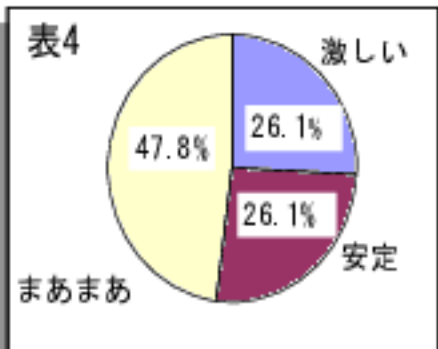
- 「表1の充足率」と「表3の施設の人材不足」を考慮して、さらに、「まあまあ（58.5%）」は「安定していることではなく、流動性の激しさ」を表わしているために、「激しい（4.8%）」と合算して解析した。その結果、流動性が63.3%もあることは、不安定要素をさらに加速させていると言わざるを得ない。よって、人材不足に加え人員の激しい流動は、施設運営を困難にしていると言える。
- 「安定（36.6%）」と返答した中には、長期的に観ると、定年退職者並びに、自己都合退職者が含まれており、必ずしも100%継続するとは言えない。この結果、【人員の流動性】は運営の根本要素の充足率に大きな影響を与えるために、施設運営の安定性を揺るがす要素となる。



4、【看護における職員の流動性の実態】

「介護より看護の方が流動性が激しい」

- 表3と4を比較して観ると、内容に大きな違いを見出すことができる。看護では「激しい（26.1%）」が介護の4.8%を21.8%も上回り、人員の出入りが激しいことを表わしている。そして、「まあまあ（47.8%）」を合算すると、73.9%もの流動性を示している。そして、介護と看護を比較した場合の流動性は、介護より看護が10.6%をも上回っていることが判明した。



5、【施設の利用者の待ち状態】

「介護士不足のために、待ち利用者増加」

- A、表5では多くの施設で、利用者の待ち状況があると判明した。83%の施設は待ち状況を抱えており、対応できていないでいる。一方では、表1と表3の数値を考慮すると、待ち利用者がある原因は、人員不足が大きく影響している。【利用者はいるが、介護士不足のために収容できずの状態】が明らかとなった。
- B、反面、新設・増設が全国で進められている。しかし、新設された施設では「介護士不足のために運営延期の声」が多く聞かれた。これは単なる介護士不足問題に留まらない。
- C、新設施設では、「新卒介護士を採用しても、再教育が必要であり、即戦力とならない」という声が多く寄せられた。このことは、介護分野では【介護士確保いかにによって運営できるか、否かにかかっている】ことを表わしている。そのためには、EPA利用での人材確保が最も良い方法だ。

合格率
80%

教育効果の高い、スカイプ授業！！

※ 本「スカイプ授業」は助成金の範囲内で参加できます。

※ 御希望の方はお問い合わせ下さい。電話：086-441-3361（小木）

- 1、会話をしながら、Eラーニングではできない「疑問点をその場で理解できる。」
- 2、受験者の「聴解力と会話力」が重なるごとに身につく。
- 3、教師と共通のテキストを使い、「読解力と構文力」が身につく。
- 4、瞬時反応能力を養え、「難解な熟語漢字対応能力」が身につく。
- 5、学習計画に基づいて、確実に「国家試験受験能力」が身につく。
- 6、専門書を使うために、学習と同時に「専門知識」を身につけ合格能力が高まる。

スカイプ授業の
強み

※ 今回、月報 41 号の編集にあたって、全国の施設に電話で、「介護現場における労働力の充足率等」について聞き取り調査を行った。

※ その中で、特徴的な声を今回の【施設の声】として掲載することとした。

余りにも様々な声があったため、2 ページにわたり、【施設の声】を掲載することとした。

すでに一部、老老介護状態・・・！！

- 月報 40 号の「調査結果」は指摘されている通りだ。当施設も人材不足は痛感している。
しかし、施設の特徴が特養か老健などで違いもあるのかなと感じている。さらに、地域性で集まりやすい所とそうでない所が大きく関わっていると思う。
- ところで、長野県からは、外国人労働力のアンケートが届き、技能実習生についての受け入れを聞かれた。しかし、当施設は、実習生の受け入れを全く考えてはいない。EPAで受け入れている二名の候補者をしっかりと育成していき、EPAに期待を寄せている。
- 介護職員の年齢層についても述べられていたが、中高年の職員が多いので、若い人の確保が是非とも必要だと感じている。人手不足のために、希望があれば定年後も働いてもらっている状況だ。

(長野県・S施設)

今後の人材確保に不安・・・！！

- 月報 40 号は、今後の施設運営について考えさせられるような内容だった。人材不足については、実感している。
- 三重県内でも特に、山間部のほうは高齢化率が 40% 以上に達しており、職員の確保が非常に大変だという話は聞いている。当施設は松阪市内だが、人言ではないので、この先、大変な時代になるなど予想はしている。
- 以前、EPAで一度受け入れたが、教育指導が悪かったために、期待していたようにはいかなかった。そのため、人材不足ということは分かっているが、再度、EPAを受け入れて労働力につなげたいという気持ちには、まだ至っていないのが現状だ。しかし、今後を考えると、労働力確保が心配だ。

(三重県・S施設)

「施設の声」

若い職員不足のために、今後が不安！！

- 40 号で指摘された通り、若い人材は本当に少ない。特に若い女性職員は、結婚や出産があるので、どうしても辞めてしまう傾向がある。そのため、20 代が少なくなる。
当施設は 50 歳後半や、再雇用で 60 過ぎの職員も働いている。
- その結果、夜勤で 8 時間勤務などは厳しいために軽減したり、シフトを工夫しながら、できるだけ高齢の職員の負担にならないように考えて対応している。(千葉県・S施設)

人材確保を、根本的に考え直す必要あり！

- 月報は毎号、参考にしながら読んでいます。人材不足については、「人を待っていても来ない」ことは分かっているので、今いる人でどう動かしていくかを考えています。
- 介護ロボットの導入の案もあり、少ない人員でも業務ができるようにすることを検討している。しかし、これは人的負担を軽減できるが、時間がかかったり効率的でないことが欠点だ。さらに、年齢が高い職員にとっては、機器を動かす上で、覚えることが多いので慣れるまでは大変だ。
- 近隣の施設では、介護記録などを全て PCで行っている施設もあるので、そういった方法も考えている。これも高齢の職員にとっては、機器操作に慣れるまでは時間がかかって大変かもしれないが、理解できたら負担軽減につながると思う。しかし、根本的な解決策だとは思えない。
- EPAの受け入れも継続して前向きに考えていかなければならないとは思っているが、候補者が合格できるか、その上で当施設に最低でも 3 年位は就業してくれるかといった定着度を見ながら検討していく。仮に、ロボットや PC 導入をしたとしても、介護の人間関係を解決できることはないので、今後の人材確保を根本的に見直さなければいけないと思う。(宮城県・S施設)

保育所開設で離職率軽減。

しかし、人材不足は深刻だ！！

- 人材不足だけではなく、経営的にも非常に問題がある。当法人は、老人病院や特別養護老人ホーム、老健など総合的に運営している。また、浜松市内の介護士を養成する大学は、定員割れで学部が維持できないという話にもなっている。
- このことだけを見ると、介護士育成ができず、さらに若者の数が少ない上で、介護士になりたいという人もいないので、今後ますます集まらなないと考えられる。
- 当法人は今のところ人材は充足しているが、この先、人手不足は重大な問題だ。本部の病院では、介護士に限らず看護師の定着を図るためにも、4年前くらいから夜間保育を開設して、結婚しても子育てをしながら仕事ができるように支援している。この夜間保育を導入することで離職しないように工夫している。このような支援をしなければ、人材の定着が図れない。その結果、離職率が目に見えて減っている。
- 今後、人材不足だけでなく、経営的にも厳しい環境になってくることが予測できる。国としては、人材確保ができるように、技能実習生を介護にも導入していけるように動いているが、当法人では人材の質の問題という観点から一切、考えていない。EPAであれば、母国での教育を受けてそれなりにしっかりとした人材を受け入れられるが、技能実習生はどんな人が来るか不安で仕方ないからだ。

(静岡県・N施設)

★ 介護士に必要で、基本的な漢字語彙の教え方

質問1、身体部位呼称は、どのように教える？

質問2、内臓器官名は、どのように教える？

質問3、身体部位呼称の漢字熟語を、どのように習得させる？

※※ 皆さん、どのようにして教えていますか？
到達度試験参加者は、約6カ月間で問題の身体部位に関する専門語彙を習得し、介護日誌などに使用して、業務連絡を取る能力を身につけています。

【以上の教え方を知りたい方は、弊社まで電話で連絡下さい。TEL：086-441-3361】

早急に教育のあり方を見直す！！

- 月報40号の指摘の通り、人材不足は痛感していて、特に介護士が足りない。職員の年齢層についての特徴も掲載されていたが、当施設は20代から年配者まで様々で、ばらけている。とはいっても、先々のことを考えると、日本人だけでは成り立っていかないことは確かだ。
- そこで、毎年EPAの候補者を受け入れているので、労働力不足を補っていく期待は大きい。しかし、国家試験結果は思わしくないということが実態だ。早急に今後の教育指導を見直して質の向上を図りたい。(青森・K施設)

10年後を考えると、老老介護状態！！

- 人材不足については、今のところ感じておらず、充足していて、辞める人がいないので助かっている。しかし、月報40号の中に、職員の年齢についての特徴が書かれていた内容を読んで、当施設の職員の年齢層も高いので、10年後の人員構成を考えると、この点が非常に心配だ。

(北海道・E施設)

生き残りを図るために、EPAを活用！！

- 毎号月報を参考にしている。40号では特に「施設の声」に興味があり熟読した。他の施設の皆さんが、どの様に今後のことを考えているのかなと思って、興味深く読ませてもらった。
- 多くの声のように、当施設でも若手の人材が集まらず、職員の高齢化が急速に進む一方だ。このままの状態が続くと、「施設内の老老介護」が5年もすれば起きてしまう。どのような対応をしたら、若い人材を確保できるのか。そして、職員の定着ができるのかが、一番の問題だ。もし、このままの状態では人材確保ができなければ、施設の運営は行き詰ってしまう。
- 生き残りのためには、人材確保をどのような形でもしない限り、人手のかかる介護業務では不可能だ。EPAでの人材確保は、最も良い方法だと思っているが、外国人であるために日本語が身について、国家試験に合格しない限り本当の人材にならないことが最大の課題だ。

(愛知県・Y施設)

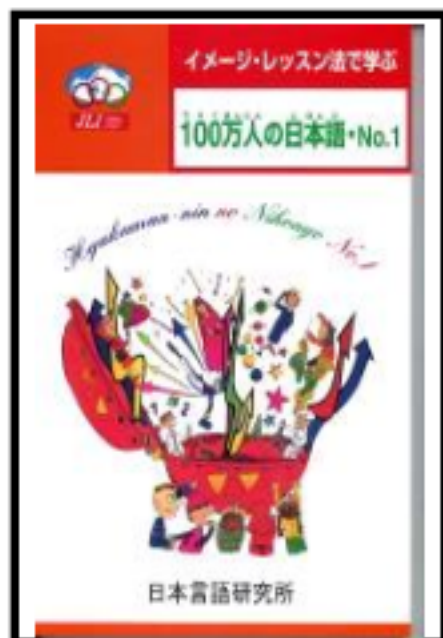
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

主教材

基礎言語能力レベル

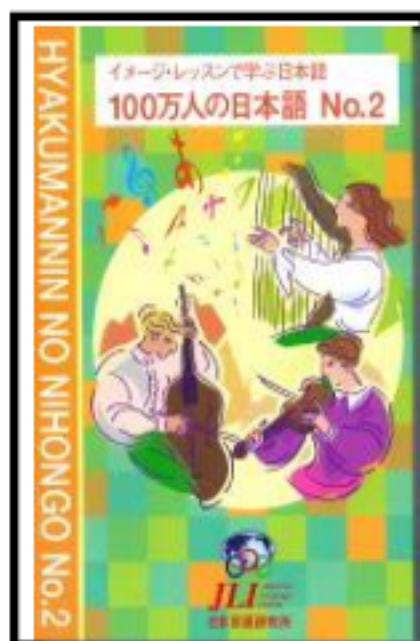
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-441-3361
FAX：086-441-3362
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての
言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・
存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成
となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文
を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解
しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得
できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現
力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語
のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解
して、目上の人に対する礼節を保つ表
現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書け
ると同時に、漢字熟語を使った要約文
を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を
引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

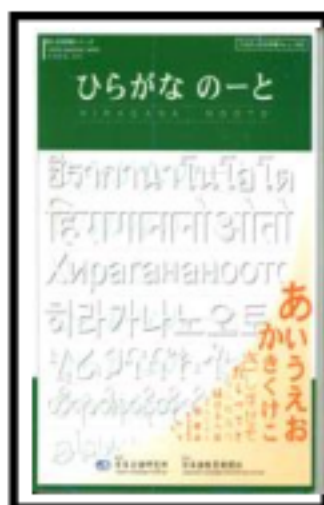
手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

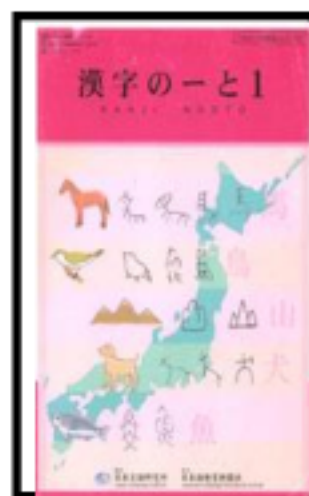
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		